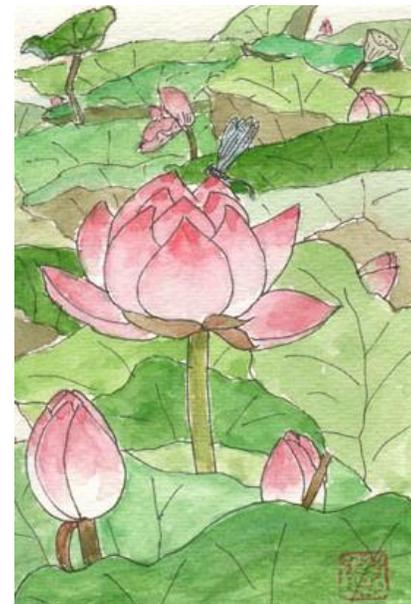




「オンライン法要と 生きているお寺」

輪番 楠 活也



シアトル別院では3月8日の日曜礼拝から、お寺に人が集まってのお参りを中止し、すべてオンラインでのお参りになりました。日曜日の法要に加え、毎日10時からのお朝事、毎週土曜日の合同法事&追悼法要、それ以外にも、メディテーション、話し合い法座、ダルマスクールやサンガアワードクラスのレッスンなどがオンラインで行われています。この機会に、一度これまでの活動をもとに、オンライン法要について振り返ってみたいと思います。

オンライン法要をすることで一つ間違いなく言えることは、法を広げる新たな展開が生まれ、伝道の新たな可能性が開けてきたということです。これまでの活動というのは、基本的にお寺に来てくださった方々を対象として伝道をしてきました。もちろん、依頼があれば外で講義や講演をすることもありました。Facebookなどのソーシャルメディアを使った伝道もしてきました。日曜礼拝もインターネットを使ってライブ中継で配信されていました。ただお寺の行事や法要は、当然ながら、お寺に来ていただくことを前提にプログラムが組まれており、お寺へ来られない方への伝道は二の次になっていました。しかし、それが、コロナウィルスの影響で誰もお寺へお参りに来られなくなったことで、みんながどのようにしたら自宅から法要やお寺の行事などに参加できるかを考え、実行されるようになりました。私自身も以前は、自分の法話や読経がインターネット上に出ることを躊躇すると

6月の予定

ユーチューブとライブ配信以外はすべてキャンセルになりました。

1・2・4・5日 10時 ライブ配信 朝の法要

6日 10時 ライブ配信・メモリアル法要

7日 10時 ビデオ配信

別院先亡者追悼法要・日本語法要

8・9・11・12日 10時 ライブ配信 朝の法要

13日 10時 ライブ配信・メモリアル法要

14日 10時 ユーチューブ配信

ダーマ・スクールアワード式・法要

ダーマ・スクール最終日・日本語法要

15・16・18・19日 10時 ライブ配信

朝の法要 16日親鸞聖人 月法要

20日 10時 ライブ配信・メモリアル法要

21日 10時 ユーチューブ配信

総長・輪番追悼法要・日本語法要

22・23・25・26日 10時 ライブ配信

朝の法要

27日 10時 ライブ配信・メモリアル法要

28日 10時 ユーチューブ配信

KSP 法要・日本語法要

29・30日 10時 ライブ配信 朝の法要

ころもありましたが、今では、日曜礼拝のみならず、ほぼ毎日インターネットにお寺でのお参りの様子を配信しています。このような活動を通して、これまでお寺とつながりのなかった人や遠く離れたところに住んでいる人とのつながりや交流が芽生えてきました。

オンラインでの法要の内容に関しても、シアトル別院や西北部教区は、他の教区には見られない独自の活動ができているように思います。ほとんどのお寺のオンライン法要は、その開教使だけで行われています。しかし、シアトル別院のお参りは、私だけでなく、カストロ先生、ミニスターズアシスタント、ユースの子たちも法話をしたり、読み物ものを読んだりします。Minds of Ministers という僧侶の対話形式の伝道も行われています。お寺の理事長のメッセージや仏教讃歌もプログラムに含まれています。西北部教区では、お寺単位のお参りにとどまらず、教区内の僧侶がオンライン上で集まって、花祭りや降誕会などをお勤めしました。誰か一人に頼るのではなく、多くの人に関わり、支えあいながら、全員参加型のオンライン法要が勤められています。

これらの取り組みというのは、恐らくこのような状況にならなかつたら生まれてこなかったでしょう。コロナ禍での Stay Home というこれまで誰も経験したことのない状況が一つの縁となって、このような新たな取り組みが始まりました。もちろん、それらのプログラムはまだまだ発展途上で、改善点はたくさんあります。しかし、伝道の方法や可能性が大きく広がったことは確かです。またみなさんでお寺に集まれるようになった後も、これらのプログラムはなんらかの形で引き続き行われていくことでしょう。これらの経験、実績を生かし、今後、さらにお念仏の教えが広がっていけばと思います。

ここまでは、オンライン法要の革新的なプラスの部分を書いてきましたが、どんなことにしても、いいところもあれば、気をつけなければいけないところもあります。ですので、次に、私が危ういなと感じたところをご紹介します。

シアトル別院では、3月中旬から日曜日のお参りがライブ中継ではなく録画放送になりました。録画放送ですので、毎週木曜日くらいまでに、法話を録画したものを、編集してくれる人に送ります。法話や仏教讃歌などは、毎週新しいものが流されていますが、お経の部分は、一度録画したものを繰り返し使っています。お花が毎週同じなのはそのためです。ライブ中継から録画放送に切り替えるにあたり、編集してくださる人の負担も考え、読経の部分は同じものを繰り返し使用することになりました。

それは私も納得して、そのようにしたのですが、それと同時に始めたのが、平日のお朝事（午前10時）のライブ中継です。これを始めたのにはいくつか理由があります。私が朝しっかり起きる理由を作る、英語を話す機会を作る、なども理由の一つです。ですが、一番の理由は、生のお経の声と生のお内陣を一人でも多くの方に届けるということです。お寺を生きている状態に保ち、生きてお寺の姿をみなさんにお届けするということです。

私は、朝お寺に行ったら、掃除をします。そして、お線香をあげて、お参りの準備をします。週に一回、妻がお内陣のお花を生けてくれます。私たちは浄土真宗の門徒です。浄土往生を目指し、浄土のはたらきに頼り、浄土に学び、生きていきます。その浄土の姿をここに現しているのがお寺の内陣です。経典に、浄土には、光り輝き、花が咲き誇り、香の香りが漂うと書いてあります。ですので、私たちも、仏様に、灯明とお花とお香をお供えします。その浄土は、法の声で満たされた世界です。ですので、僧侶は内陣でお経を唱えます。それは、今まさに私たちに働きかけている浄土の姿を、お寺の内陣に表現していることを意味しています。それが、今まさに、生きて法を伝えるお寺の姿です。

読経の部分は、同じだから一度録画したものを繰り返し流せばいい、その言い分はよくわかります。ただ、これを繰り返し、仮に1年、5年、10年と続けていくと、中には、お寺は必要ない、内陣は必要ない、映像さえあればそれで良いと考える人も出てくるでしょう。そうなっては、お寺はただの建物となり、内陣は、ただの展示物となります。そして、お寺でお参りすることなく、バーチャルの世界だけで仏法を学ぼうとするでしょう。それでも、仏教に関する知識は十分に得ることはできます。仏教は学校、本、インターネットを利用して学ぶことはできます。しかし、お寺は、ただ仏教を学ぶための場所ではありません。仏法を生きる拠り所とする者が、仏法を聞き、法のお味わいを深める場所です。その中心にあるのがお寺の本堂であり、内陣です。お寺でのお参りをやめ、録画した内陣の映像を流し、読経の様子を流すと、仏法が心の底まで響いてくるといことは難しくなるでしょう。ですので、仏法を学問としてではなく、生きる拠り所として伝えていくには、お寺が生きた状態であることが大切です。それを維持していくのが僧侶の本分であると私は考えています。

今、米国仏教団の多くのお寺が閉まっています。僧侶でさえなかなかお寺に行けない状況にあり、オンラインでのお参りを続けています。このコロナウィルスの状況が静まり、お寺がまた活動を再開できるようになった時、各お寺でこれまでとは違った寺院活動が展開されていることでしょう。それがどのようなものなのか、皆さんも考えてみてください。どのような活動がなされるにしろ、浄土真宗のお寺、門徒にとって、核となる部分は外してはいけません。その核となる部分の象徴がお寺の本堂であり、内陣です。これからどういう状況になるにせよ、みなさんといっしょにシアトル別院を元気な、生きているお寺にしていきたいと思えます。合掌

シアトル別院 法要ビデオの閲覧方法

1. 検索ブラウザに、 www.youtube.com/seattlebuddhisttemple
2. Enter キーを押します。
3. ページが表示されたら、[ビデオ] タブを選びます。閲覧可能なすべてのビデオが表示されます。
4. 見たいビデオ（録画）をクリックしてください。もしライブ中継中でしたら生中継のビデオも見ることができます。
5. ライブ中継： 午前10時： 月曜日、火曜日、木曜日、金曜日（水曜日はありません）朝の法要
ライブ中継： 午前10時： 土曜日 合同法事／追悼法要
ビデオ配信： 午前10時： 日曜日 日曜法要



会長より

リアン・西・ウオング

「無常」

私たちはお寺で無常について学びます。春が来て夏になり、晴れた日が多くなります。季節の移り変わりは同じようにやってきますが私たちの日常は違います。今までのような日常は変わり、不安な日々を過ごしています。皆様もお念仏とともに安心な毎日をお過ごし下さい。

シアトル別院では「家にいましょう、健康維持しましょう」という規約に沿ってインターネットでのお参りだけになっています。当日のビデオ通信を見逃されてもユーチューブでは以前のビデオがご覧になれます。

例年夏に開かれる KSP はキャンセルされました。

ダーマ・エクスチェンジは zoom 通信により 6 月に開かれます。日・時間は追ってお知らせします。

今年の盆踊りはお寺での集まりとしては開催されません。お盆コミティーはバーチャル・インターネットでのお祝い

として実現させるよう努力しています。踊りの練習、ウォークショップ、サービスなどは7月1日より発表されます。初盆の法要は7月12日にインターネットで通信されます。公式のお盆の催しは7月18日です。

盆踊りは別院にとって最も大きなファンドレイズです。その収益はお寺の維持費として、サラリー、維持費、インターネット配信、ゲスト・スピーカー、支援活動など重要な経費となります。ご寄付などのご支援をいただける方々はメールで bonodori@seattlebetsuin.com までお知らせ頂くか、また別院のウェブサイトでもご寄付が出来ます。チェックを送られても結構です。

タコマ仏教会の宮地崇先生がタコマを去られます。8月1日付で南アラメダ仏教会に赴任され、パートで開教使として又、パートでIBSにてご講師として活躍される予定です。宮地先生には私たちも大変お世話になり、お寺でのレクチャーやインターネット配信でも何度もお目にかかっております。先生とご家族が去られるのは寂しく惜しまれますが、今後のご活躍が楽しみです。

タコマ仏教会には新しい先生、小山タダオ開教使が8月より着任されます。シアトル別院でも小山先生とお会いするのを楽しみにしております。

ご意見、ご質問などお寄せください。 chairperson@seattlebetsuin.com.

婦人会便り

大川ジェニー・鹿島加奈子



婦人会では今年の新メンバーの歓迎会を開催しました。ジャン・ケルトナー、ボニー・ダスラー、マリー・ジョンストン、クリスティン・ベイファス、ジャニス・出口の5名です。インターネットのZoomで新メンバーの紹介とお茶を楽しみました。家でお茶を飲みながら、共同会長の鹿島かなことアドバイザーである、楠先生、彩乃夫人の3名の挨拶を聞きました。副会長のスージー山根とティーナ頭本コーが計画・案内状作成をしました。また新入会員にはお茶とスコーンを届けました。新入会員の皆さんウェルカム！

婦人会では今年もウォーク・フォー・ライスをサポートしています。今年はパークで歩くことはできませんがフードバンクに頼らないと生きて行けない方々のためにも寄付は必要です。前年の私たちの寄付額に届くように皆様のご協力をお願いします。ウェブサイトで寄付ができますがチェックを送ることも可能です。

チェックの宛名「ACRS」

住所はWalk for Rice, 3639 Martin Luther King Jr. Way South, Seattle, WA 98144

私たちのグループ名はSeattle Buddhist Women's Association SBBWA

ウェブサイトでの寄付の場合:

http://acrs.walkforrice.org/site/TR?fr_id=1130&pg=entry で探してください。

そして婦人会のグループ名は「Seattle Buddhist Women's Association SBBWA.」

別院維持会会費

今年の維持会費は70歳以下は400ドル、70歳以上は350ドル。よろしく願いいたします。5月に収められた方々のお名前が英語面にあります。ありがとうございました。

別院維持会

コロナ・ウィルスの影響で別院での法要が中止になって3ヶ月近くになります。その間も別院では先生方や職員が働いています。またお寺の維持費もかかります。今年の維持会費を納めておられない方はチェックをお送りください。またオンラインでお支払いの場合は Seattlebetsuin.com そして become a sustaining member をクリックしてください。

枕経・お葬式・法事・メモリアルについて

皆様はもうよくご理解されていると思いますが、現在お寺ではお参りもその他のイベントも集まりません。枕経・お葬式・法事・メモリアルなどもお寺ではできません。インターネットを使ってご相談や法



事をすることはできます。ズームとかフェースタイムなどがあります。事務所にご連絡ください。office@seattlebetsuin.com

毎土曜日の10時よりの法要は追悼法要です。同時配信となっています。別院メンバーと新型コロナ感染で亡くなった方々への追悼にもなっています。ご家族・ご友人など申し込まれますと法要時にお名前を読み上げられます。事務所までご連絡ください。

お経と会話が木曜日11時より11時半まで開かれています。英語での会話ですがZOOMで参加できます。事務所まで申し込んでください。office@seattlebetsuin.com

別院の現状について

現在、各宗教の教会を再開する重要性についていろいろな討論がされていますが、シアトル別院では現行維持で今後の連絡があるまで閉まっています。コロナウィルスの蔓延を防ぐためと、会員の皆様や地域の人々の安全を守るために別院ではキング群とワシントン州の規則に従っています。お参りやクラスなどはユーチューブのチャンネルでご覧になれます。この困難な時、皆様のご理解とご支援に感謝しております。

英文記事

シアトル別院のメンバーJoe Gotchyさんが、シアトル別院がかつて取り組んでいた蓮如上人の御文章の英訳に関する英文記事を書いています。よかったらそちらもご覧ください。

お盆・初盆法要

初盆はお盆法要と同じ7月12日10時からです。この法要はビデオレコーディングしたもので、ユーチューブでご覧になれます。お盆法要は毎年行なわれています。お亡くなりになったご家族、ご先祖に対し思いを寄せ、敬意を示す日です。この法要はまた初盆法要でもあり、亡くなったご家族の今年が始めてのお盆もふくまれます。

去年のお盆以来亡くなられた方で初盆法要に含まれることをご希望のかたはご家族でもご友人でも申し込めます。7月1日までに申し込んでください。お名前とあればお写真も送ってください。office@seattlebetsuin.com 送り主の方のお名前と電話番号もメールに添えてください。お名前とお写真が法要時にスクリーンに映しだされます。

ウーマンズ・セミナー・アップデート

10月3, 4日(土、日曜日)

ビデオ・コンファレンス

ご講師は右のインサートにあります。

初めての試みですが、平野先生を始めご講師の先生方は全員経験豊かな方々です、楽しみにお待ちください。

Changed to video conference!

Women in Buddhism Conference
"Tools for Spiritual Wellness, Part 2"
 Saturday, Sunday - October 3, 4, 2020


 Carmela Javellana Hirano, MD
 "Radical Humility: Jodo Shin-shu Path to Gratitude and Joy" Psychiatrist in private practice, Salt Lake City, UT; ordained Shin Buddhist minister.
 Nembutsu


 Bonnie Duran, PhD
 "Mindfulness and Dharma to undo internalized negative stereotypes" Learned Vipassana in Bodhi Gaya India; professor of Social Work & Public Health, University of Washington.
 Vipassana


 Sharon A. Suh, PhD
 "Healing from Trauma through Meditation and Yoga" Professor of Buddhism, Department of Theology and Religious Studies, Seattle University.
 Yoga


 Sheri Mizumori, PhD
 "Brain Health and Everyday Mental Well-Being" Professor of Psychology and Neuroscience, University of Washington.
 Brain Health


 Tara Tamaribuchi, BFA
 "Self-renewal through art" Artist and mother, expresses Buddhists concepts through art making.
 Healing with Hands

Presented via video conference by
 Seattle Betsuin Buddhist Temple
 Seattle Betsuin Buddhist Women's Association
 Center for Buddhist Education
 SeattleBetsuin.com/2020WiB

